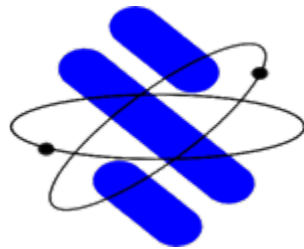


平成24年3月期 決算説明資料



平成24年6月25日

 株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

平成24年3月期決算概要

1	業績概要	4
2	経営成績	5
3	業績推移	6
4	売上高四半期推移	7
5	事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）	8
6	事業別業績推移（入力データ作成事業）	9
7	事業別業績推移（受託計算事業）	10
8	業種別売上比率（全社）	11
9	貸借対照表	12

平成25年3月期の見通し

10	経営環境	14
11	平成25年3月期の展望	15
12	平成25年3月期業績見通し	16
13	売上高推移見通し	17

平成24年3月期決算概要

1. 業績概要（平成24年3月期）

売上高

4,129百万円

（前年同期：3,831百万円）

経常利益

173百万円

（前年同期：121百万円）

純利益

40百万円

（前年同期：67百万円）

経営環境

わが国経済は、東日本大震災に伴う経済活動の落ち込みから緩やかな回復の兆しが見られるものの、欧州の債務危機を背景とした世界的な景気減速や円高・デフレの長期化、更にタイでの洪水被害による日本企業の業績悪化など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

情報サービス産業界の動向

企業の情報化投資に対する慎重な姿勢が続いており、売上が概ね前年割れとなる厳しい状況で推移しました。
（経済産業省・特定サービス産業動態統計）

当社の施策・・・

顧客のニーズに柔軟に対応すべく、重点顧客へ要員をシフトするとともに営業力の強化を図り、売上拡大を目指しました。

また利益面では、開発要員の不稼働による損失の防止など全社的なコスト削減に努めるとともに、品質管理・採算管理体制を強化して開発プロジェクトの採算悪化防止に注力いたしました。

2. 経営成績

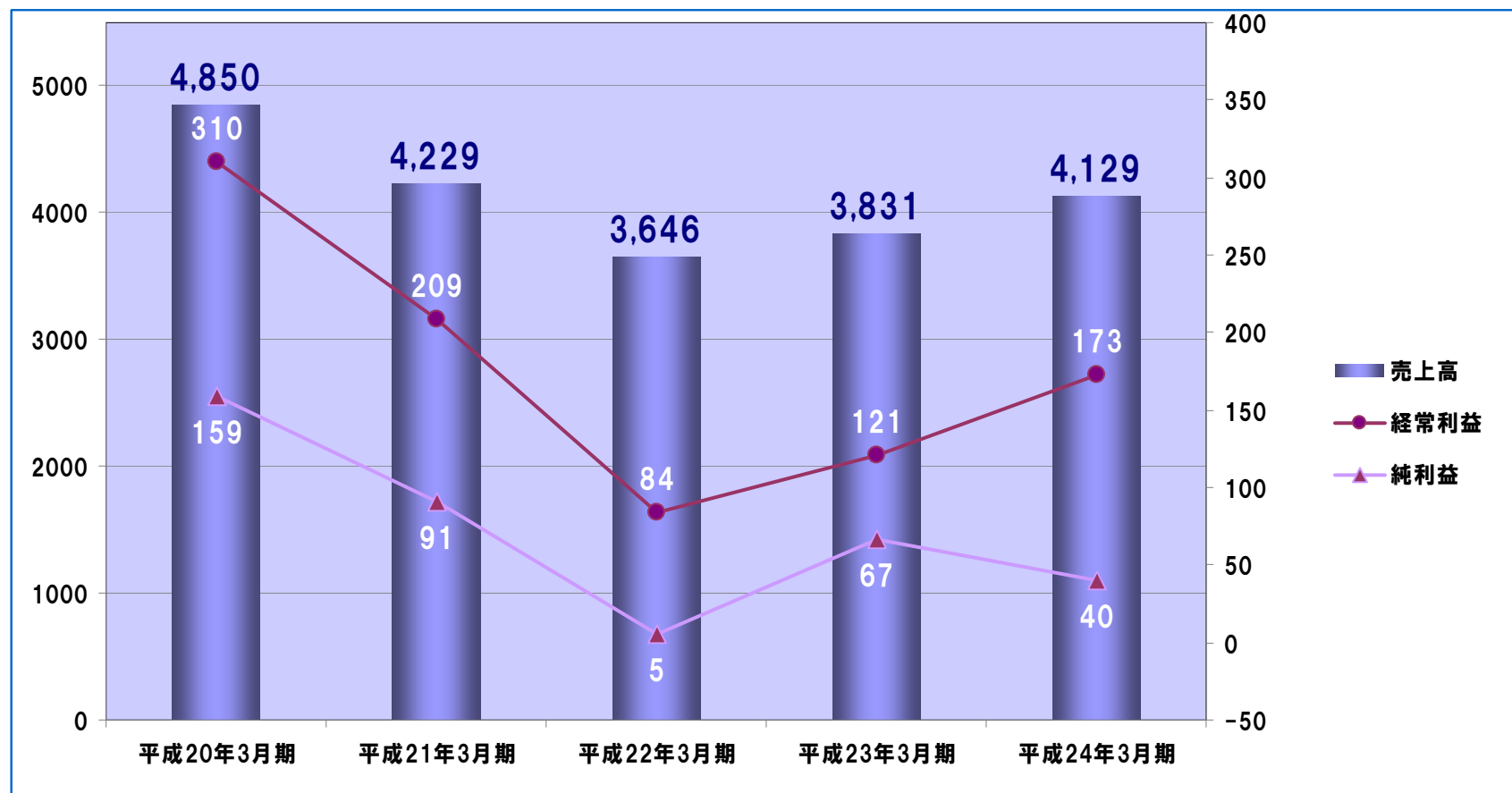
(単位：百万円)

	平成24年3月期	平成23年3月期	前期差額	増減率
売上高	4,129	3,831	298	7.7%
売上総利益	524	418	106	25.3%
総利益率	12.7%	10.9%	—	
販管費	366	326	40	12.2%
営業利益	158	92	66	71.7%
経常利益	173	121	52	42.9%
特別利益	—	9	△9	—
特別損失	2	5	△3	—
税引前利益	171	125	46	36.8%
法人税等※	130	58	72	124.1%
純利益	40	67	△27	—

※法人税率引下げに伴う繰延税金資産の一部取崩しにより、法人税等調整額が増加いたしました。

3. 業績推移

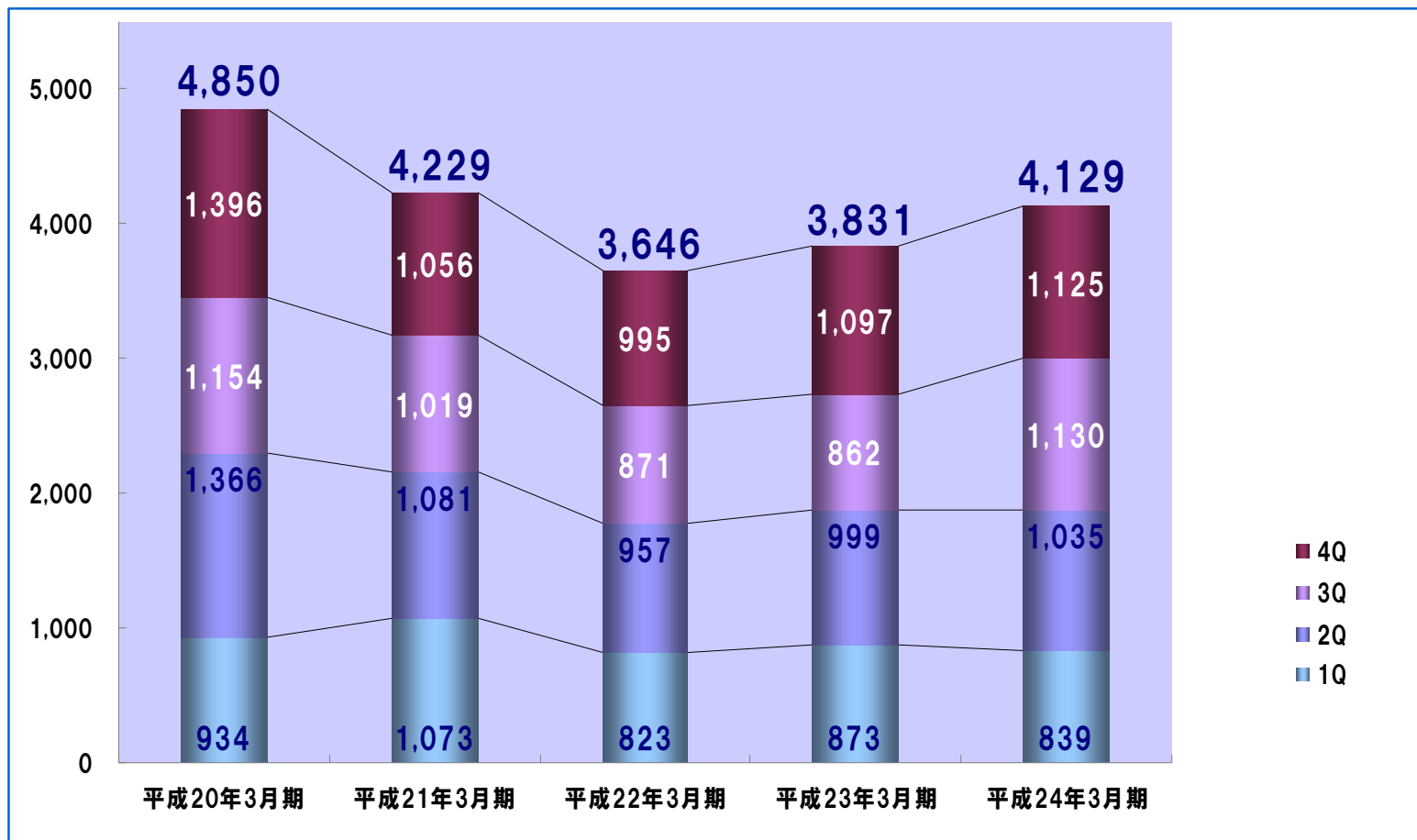
(単位：百万円)



「RE・START5」2年目として計画目標の達成を目指し、粛々と施策を実行しました。

4. 売上高四半期推移

(単位：百万円)



第3四半期以降は、特に金融システム開発関連の売上が堅調に推移しました。

[戻る](#)

5. 事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）



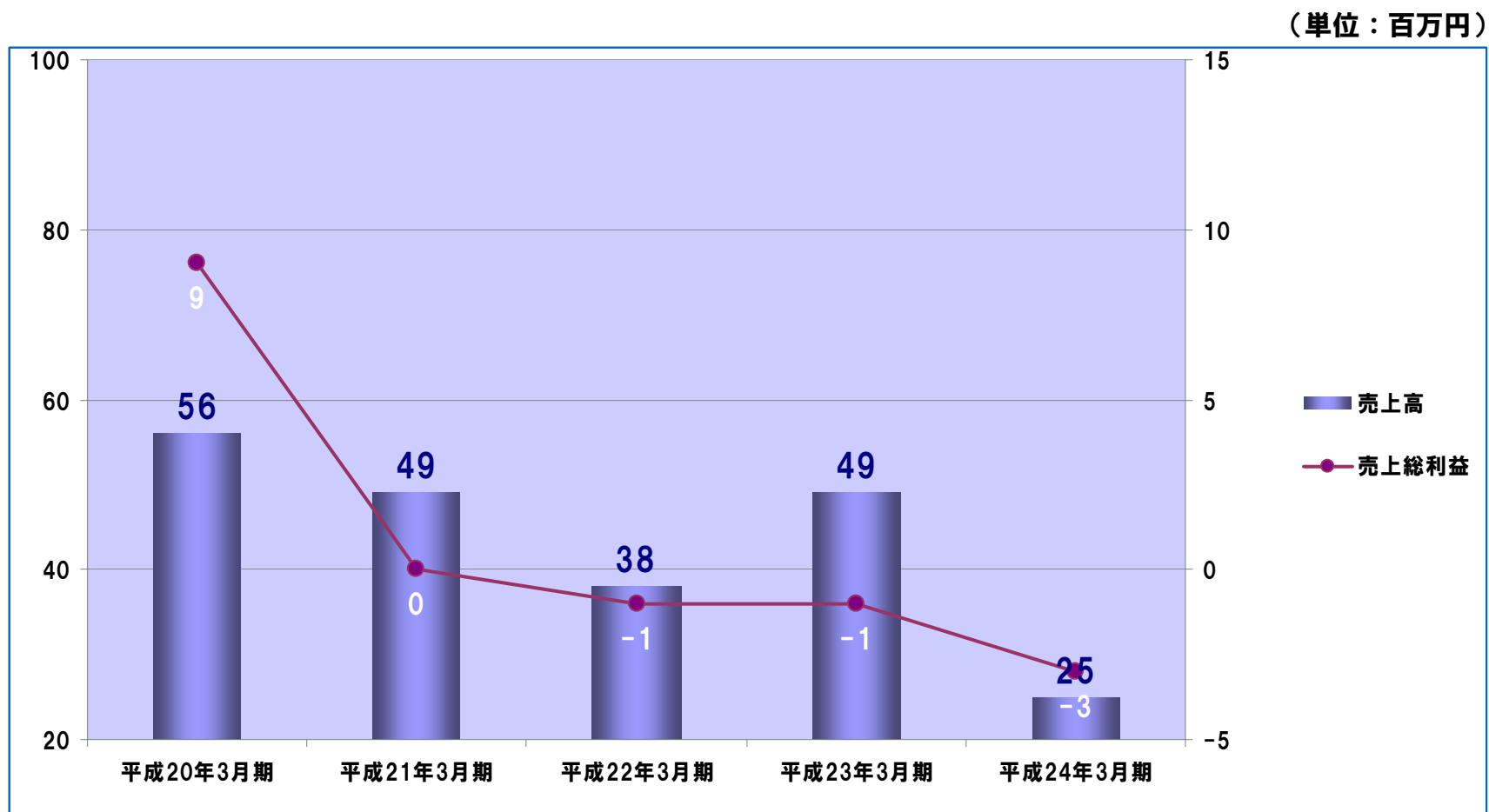
営業力の強化による売上拡大と品質管理・採算管理体制の強化による採算悪化防止が奏功しました。

6. 事業別業績推移（入力データ作成事業）



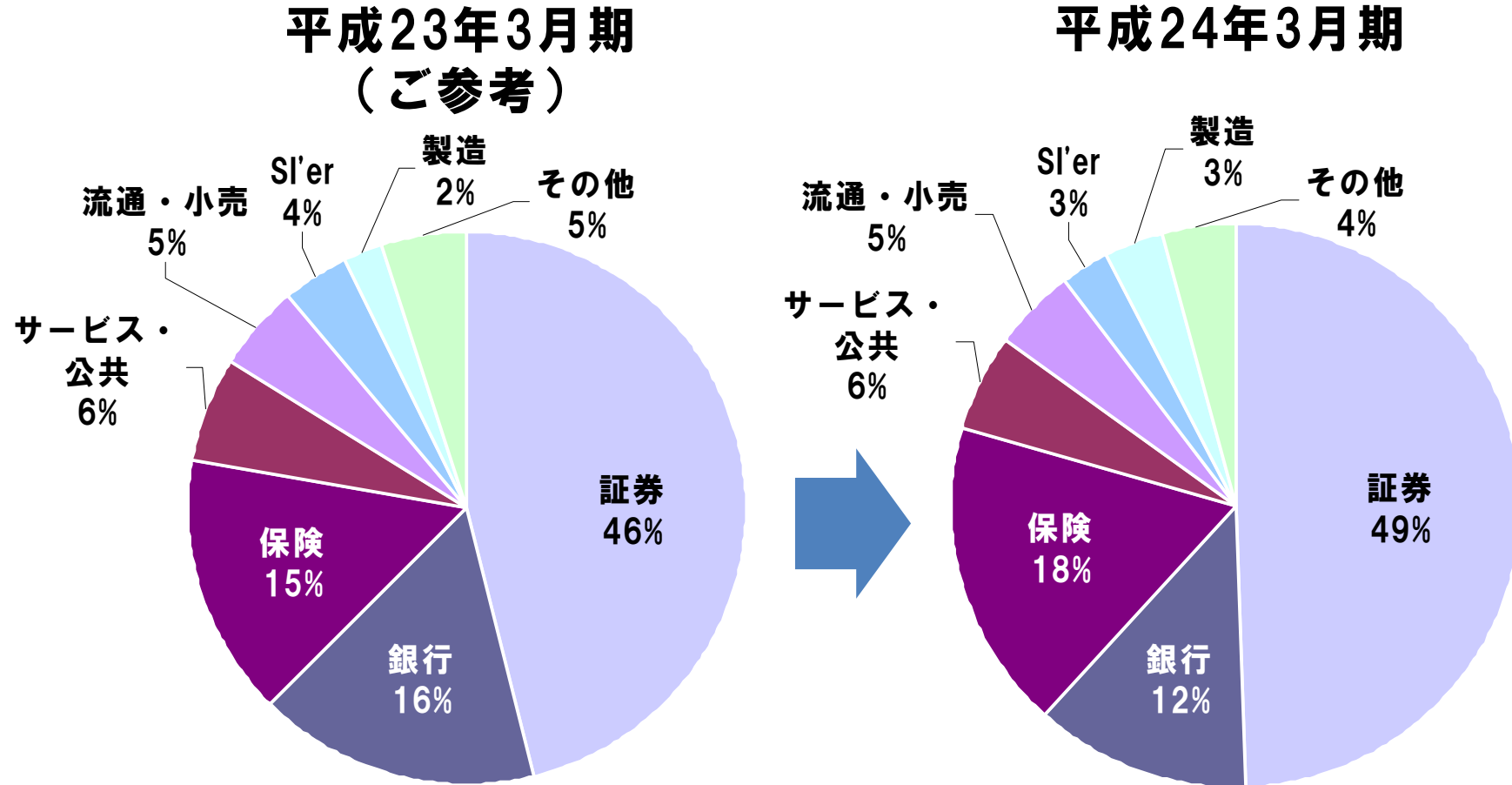
市場の縮小傾向と受注単価下落による減収が続くなか、利益確保に努めました。

7. 事業別業績推移（受託計算事業）



事業拡大、利益確保が困難な市況のため、事業内容を選別しマイナス幅の抑止に努めました。

8. 業種別売上比率（全社）



全体として大きな変動はないものの、保険分野と証券分野が拡大しました。

9. 貸借対照表

平成23年3月期

(平成23年3月31日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,842	流動負債 471	負債・純資産の部
	3,026		固定負債 1,371	
	固定資産	純資産合計 2,208	4,051	
1,024	4,051			

平成24年3月期

(平成24年3月31日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,999	流動負債 548	負債・純資産の部
	3,244		固定負債 1,451	
	固定資産	純資産合計 2,202	4,202	
958	4,202			

流動比率
自己資本比率

642.2%
54.5%

591.9%
52.4%

平成25年3月期業績見通し

10. 経営環境（平成25年3月期）

- わが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあります。ただ、欧州債務危機に伴う海外景気の下振れ、原油高、国内電力供給の制約など、わが国の景気を下押しするリスクが存在します。
- 情報サービス産業においては、ユーザー企業の情報化投資回復が一部の企業にとどまり、多くの企業では抑制傾向が続くものと思われれます。
- 情報化投資の抑制により、受注金額の値下げやIT業者間における競争激化は依然続くものと見ております。

1 1. 平成25年3月期の展望

対処すべき課題	施策
<p>➡ 新規顧客の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客を様々な業種に拡大し業種偏重から脱却 ・売上の中核となる長期安定顧客の獲得 ・新ビジネス・スキームの発掘
<p>➡ サービス価値の維持・向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査の継続的实施 ・PDCAサイクルを活用しクレームゼロ化 ・基本動作“報、連、相”の徹底
<p>➡ 採算管理体制の維持・強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率を向上し不稼動による損失の防止 ・PMOによる重点プロジェクトの監視 ・PMRによる事故防止と問題解決
<p>➡ 技術者の確保と人材教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市場が求める技術者の確保 ・将来を見据えた人材育成 ・ヒューマンスキルに重きを置いた研修メニューの拡大

※「RE・START5（スローガン）」最終年、成長基軸を維持し売上拡大を目指します。

12. 平成25年3月期業績見通し

	平成24年3月期（実績）		平成25年3月期（見通し）		
	金額：百万円	前年同期比 増減率	金額：百万円	前期差額	前年同期比 増減率
売上高	4,129	7.8%	4,250	121	2.9%
営業利益	158	70.5%	170	12	7.6%
経常利益	173	42.6%	180	7	3.6%
当期純利益	40	△39.5%	87	47	114.4%
1株当たり 当期純利益（円）	8.44		18.10	9.66	

不透明な状況で推移すると思われる経済環境の中、サービス価値の維持・向上と営業力の強化を図るとともに、採算管理体制を更に充実して全体的なコスト削減に努めることで、収益向上を見込んでおります。

（注）本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

1 3. 売上高四半期推移見通し

(単位：百万円)

